

中2

数学

きほん

こたえ

名前 _____

式による説明

____ 月 ____ 日

れい

偶数 $2n$ 、奇数 $2n + 1$ 、3の倍数 $3n$ 、2けたの自然数 $10a + b$ … 整数を文字の式で表す。

$3n + 3 = 3(n + 1) \rightarrow n + 1$ は整数だから、 $3(n + 1)$ は3の倍数 … $3 \times (\text{整数})$ の形にする。

1 数を文字の式で表す

次の数を、文字を使った式で表しなさい。

- ☐ (1) n を整数とすると、5でわると2余る数 $5n + 2$
- ☐ (2) 百の位の数 a 、十の位の数 b 、一の位の数 c の3けたの自然数 $100a + 10b + c$
- ☐ (3) n を整数とすると、偶数 $2n$ の次の偶数 $2n + 2$

2 説明を完成させる

次の説明の □ にあてはまる式やことばを答えなさい。

- ☐ (1) 連続する3つの整数の和は、3の倍数になる。このことを、次のように説明しました。

〔説明〕 n を整数とすると、連続する3つの整数は、 n 、 ア $n + 1$ 、 イ $n + 2$ と表される。

それらの和は、 $n + (\text{ア}$ $n + 1$) + (イ $n + 2$) = ウ $3n + 3$ = $3(n + 1)$

$n + 1$ は整数だから、 $3(n + 1)$ は3の倍数である。

- ☐ (2) 連続する3つの整数で、もっとも小さい数と最も大きい数の和は、まん中の数の2倍になる。このことを、次のように説明しました。

〔説明〕まん中の整数を n とすると、もっとも小さい数は ア $n - 1$ 、もっとも大きい数は イ $n + 1$ と表される。

その2つの数の和は、(ア $n - 1$) + (イ $n + 1$) = ウ $2n$

ウ $2n$ は、まん中の数 n の2倍である。

できた / 5問